

第1回 景観ワークショップ(7/21)メモ

グループ名 「かん×3」

テーマ 「おいしくてやさしい風景」

・原盆地(と京大農場)を中心に、美味しい「食の喜び」を与えてくれる農地や里山、そして、そこに根付く歴史や文化などについても考えていく。また、その中で、食の安全や食育についても考え、里山のおいしくてやさしい風景をどうやって発信して、守っていけるのかを考えていく。

メンバー

今中 朱美

- ・南平台に住んでいる。
- ・原は住んでいるところから近いので好き
- ・アクアピアの付近は、山なみや向かいに見える緑がきれいで歩いていて癒されます

鎌田 優子

- ・高槻市(安岡寺)で生まれ育って、10年ほど高槻を離れて戻ってきたが、昔と変わらない原の風景にほっとした。最近食べた原の野菜がとてもおいしかった。
- ・不登校の子供たちを支援する取り組みをしていることもあって、子供たちが遊べる自然を残したいと思う。現在、有機野菜を使ったラーメン屋さんをしている。

杉本 真一

- ・高槻の自然が好き。特に都会の中のオアシスとも言える原の環境をいつまでも残したい。
- ・親子で自然体験をするプログラム(わくわく探検隊)をやっている。
- ・子供たちの食育についても興味がある。

永野 晴朗

- ・成合北の町で土地を借りて家庭菜園をしている。休耕田があるが、雑草だらけなので、手入れされればいい景観になると思う。
- ・田舎の風景が好き。川もきれいにしたい。

原 春二

- ・51年間高槻市に住んでいて、高槻がどのように変わったのか見てきた。
- ・京大農場の活用に興味があって、高槻の街づくりのシンボリック的存在として、子供たちの体験学習や高齢者の憩いの場、災害時に対応できる場となるような活用をして欲しい。

平井 友美

- ・沖縄で焼物の勉強をしていて、樫田で窯を持って焼物をやっていきたいと思っている
- ・都市に住んでいる人など、田舎に関心のない人と田舎に住む人を繋いでいきたい。

松阪 知枝

松久 摩耶（1回目は欠席しましたが、2回目からいっしょにグループに参加させていただきます。よろしくお願いします。）

次回の予定

- ・2回目は、テーマに沿った写真をみなさんに持ってきていただいて、その写真を見ながら、いいところ・守っていききたいなと思うところをみんなで共有していきたいと思います。
- ・また、いいところがどのように守られているのか、どんな人が関わっているのかなどみなさんで意見を出し合えたらと思っています。

写真がたくさんあったほうがお話しやすいと思いますので、みなさん写真をたくさん持ってきてください。よろしくおねがいします。

1回目のワークショップで、今後のフィールドワーク等に向けて連絡網を作ったらどうかという提案をいただきましたので、2回目に連絡網を作りたいと思っています。みなさんご協力をお願いします。

2回目は、8 / 4（土）午前10時～

会場は市役所新館（総合センター）の14階 C1401です。